

やっ…  
やめてください！

なあ  
ちよつとくらい  
付き合えよ！

はあ

はあ

チツ！

あたしが相手に  
なってあげようか？

つまんねえ！  
つまんねえ！





誰だお前？  
いつの間……



まあこの際  
誰でもいいや！  
だがオレは少しばかり  
激しいぜ……



フツ……



うおっ！

もつとだ！

もつとー！

もつと見せてくれ！！

しょうがないなあー  
もう少し近づいてもいいよ

ハッ！


まてまて  
なぜ脇ぐらいで  
興奮してるんだ!?





オレにそんな  
シユミはねえ！

じゃあ  
これはどう？



ハア？  
バカに  
してんのか？

オレじゃなきや  
満足できなく  
なるくらい  
可愛がって  
や——



ほら

良い香りが  
するでしょ？

ホワ





なっ!  
なんだこれは!?



この可憐な少女の足を  
包み込んでいた  
このブーツ!

なんてかぐわしく  
悪魔的な  
香り……

ほのかに鼻を刺激する  
汗臭さも良い!!

オ……  
オレはブーツの匂いで  
興奮してるのか!?



じゃあ  
直に足の匂いを  
嗅いだりしたら……

どうなるんだ!?





コレが

ほしいんだ？



#ニッ

素直だね！  
そう  
我慢しなくて  
いいんだよ……





もう少し  
あげてください！

ん♡

あっ！

良い！！



とまんねえ  
とまんねえよ！

ムム

ムム

ムム



変態さん！

シク

シク

もっと激しく動かしてよ！

はいっ！



フフツ……

イツちやえ!

ス



キョ

キョ

キョ

ん!!



